

新幹線プレス 	2025 年 4 月 22 日		No.699
	発行者	伊 藤 一 也	
	編集者	教 宣 部	
	J R 東海労新幹線地本		

新幹線乗務員の行路は、ますますきつくなっている！改善を求める！

経営協議会報告

4 月 1 1 日、新幹線事業本部との経営協議会が開催されました。

今回は、運輸所の乗務員行路の改善についてのやりとりを紹介します。

組合側は行路と行路順序の問題について現実の職場の声をもとに改善を求めましたが、会社は終始一般論に話をすりかえ改善を拒否しました。

組合：年々仕事がきつくなっている。一勤務の乗務時間が 1 6 時間を越える行路が五つもある。1 7 時間をこえるものもある。J R 東海労として交番順序の休みが 1 日のところに在宅休養時間を多くとるよう行路順序の組み替えを求めたが会社は受け入れなかった。

会社：全員が都合の良い行路順序とはならなくても、出来るだけ多くの人が良いように考えてやっている。

組合：一勤務の乗務時間が 1 6 時間を超えるのは制度からいっておかしい。

会社：そのあとのただし書きがある。

組合：ただし書きで行路をつくるのではない。ただし書きは、地方線区などでどうしてもつukれない場合のことをいっている。

会社：大半の行路はただし書きでつくってはいない。一部そういう行路がある。

組合：乗務時間の限度はオーバーしてはいけない。

会社：但し書きがある。見解が分かれる。

組合：予備勤務の行路はみんな 1 6 時間を超える行路だ。

会社：乗務割り交番作成規定だから、臨時の行路まで制約するものではない。だからといってそれがいいというつもりはないが、やむを得ずという場合もある。

組合：次のダイヤ改正ではなくこれから改善すれば良いではないか。

会社：ダイヤ改正は年間スケジュールで各系統が進めている。われわれだけの都合でやれるものではない。

組合：ダイヤ改正から 1 ヶ月できついと声が出ている。会社は聞いてないのか。

会社：良くなったという声も悪くなったという声もある。

組合：良くなったという声を教えてほしい。

会社：一般論として言っている。

組合：直接乗務員から聞いてほしい。

会社の発言は問題をすり替えている。働きやすい職場をつくるため、ユニオン組合員の皆さんも共に声を上げましょう！